

3 主要事業の要求状況

部局等の名称 肥前さが幕末維新博事務局

(単位:千円)

事業名	29年度 当初 予算額	30年度 当初 予算額	要求事業の概要	担当課
明治維新150年記念さが維新事業費	953,450	1,256,403	<p>(目的)</p> <p>明治維新150年(平成30年)を契機に、佐賀の偉業や偉人を顕彰し、偉業を成し遂げた先人の「志」を今に活かし、未来につないでいくため、「肥前さが幕末維新博覧会」を開催し、佐賀への愛着・誇りの醸成と地域づくりに資する。</p> <p>(事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○幕末維新記念館をはじめとしたテーマ館の運営 ○広報、プロモーションの展開 ○イベントの開催 ○さが維新交付金による市町・団体への支援 	肥前さが幕末維新博事務局

(注) 政策調整会議時点のものであり、調整の結果、金額の変動、事業内容等の変更がありうる。

3 主要事業の要求状況

部局等の名称 総務部

(単位:千円)

事業名	29年度 当初 予算額	30年度 当初 予算額	要求事業の概要	担当課
私立高等専修学校特別支援教育サポート事業費 (新)	0	3,528	(目的) 生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服し、もって私立高等専修学校教育の充実を図るため、特別支援教育支援員を配置するために必要な支援を行う。 (事業内容) ○特別支援教育支援員の配置に要する経費に対する補助	法務私学課
本庁舎等整備費(臨時・大型)	0	65,507	(目的) 災害により緊急対応の業務を継続するのに必要な活動スペース、電気及び情報通信等が制限される状況下でも、業務への影響を低減させるため予防的な対策を実施する。 (事業内容) ○活動拠点室等の天井落下防止工事等	資産活用課
総合庁舎等整備費(臨時・大型)	0	92,769	(目的) 災害により緊急対応の業務を継続するのに必要な活動スペース、電気及び情報通信等が制限される状況下でも、業務への影響を低減させるため予防的な対策を実施する。 (事業内容) ○活動拠点室等の天井落下防止工事 ○自家発電設備の燃料タンク増設工事 等	資産活用課

(注)政策調整会議時点のものであり、調整の結果、金額の変動、事業内容等の変更がありうる。

3 主要事業の要求状況

部局等の名称 地域交流部

(単位:千円)

事業名	29年度 当初 予算額	30年度 当初 予算額	要求事業の概要	担当課
(新) 「そうだ、島へ行こう！」 推進費	0	12,500	(目的) 七つの島の魅力と島外(民間や若者)の活力を活かし、課題解決に向けた取組への支援を行うとともに、七つの島のマップや体験メニュー等を積極的に発信することにより、交流人口増加、活性化を図る。 (事業内容) ○離島振興に向けた取組に対する補助 ○島に関する情報の発信	さが創生推進課
(新) 九州佐賀国際空港開港20周年記念事業費	0	13,789	(目的) 九州佐賀国際空港の開港20周年にあわせて、記念事業を実施し、九州佐賀国際空港の更なる利用促進を図る。 (事業内容) ○記念式典、レセプションの開催 ○各種イベントの実施	空港課
空港施設機能強化事業費 (債務負担行為) 空港施設機能強化事業費	471,000	1,534,380 (期間) 平成31年度 ～ 平成32年度 (限度額) 3,800,000	(目的) 近年の路線、便数の増加及び利用者数の増加によるターミナルビル内の混雑に対応するため、駐機場やターミナルビルの機能強化を図る。 (事業内容) ○駐機場の整備 ○ターミナルビルの拡張	空港課
佐賀空港滑走路延長 整備事業費	112,600	27,610	(目的) 現在の2,000mの滑走路を2,500mに延長し、既存便の増便や新規路線誘致のハンディキャップを解消し、「九州のゲートウェイ空港」としての発展を目指す。 (事業内容) ○環境影響評価の実施	空港課
(新) 新企画展開催事業費	0	28,408	(目的) 本県出身の実業家に焦点を当てた特別企画展を開催することにより、県民が佐賀のことを誇りに思う気持ちを醸成するとともに、佐賀の特色と魅力を全国に発信する。 (事業内容) ○特別企画展(平成30年7月～9月(予定))の開催	文化課

(単位:千円)

事業名	29年度当初予算額	30年度当初予算額	要求事業の概要	担当課
(新) 伝承芸能次世代継承事業費	0	48,463	(目的) 伝承芸能を再評価する機運の醸成、担い手不足の解消、技能の伝承に一体的に取り組むことで、各地域の特色ある伝承芸能を将来にわたり継承し、地域の絆を深めるとともに、佐賀への誇りと愛着を育む社会の実現を図る。 (事業内容) ○キックオフイベントの開催 ○伝承芸能に関する実態調査等の実施	文化課
(新) 障害者芸術文化活動普及支援事業費	0	7,000	(目的) 障害者の文化芸術活動を支援することにより、自ら活動に取り組む機会の充実を図り、文化芸術に親しむ人の裾野を広げる。また、多くの県民に創造性の高い作品の魅力を発信することにより、障害者の文化芸術の振興を図る。 (事業内容) ○芸術文化活動を行う障害福祉サービス事業所、支援団体等を支援する拠点の設置・運営等に係る経費に対する補助	文化課
九州陶磁文化館特別企画展等開催費	0	22,825	(目的) 人間国宝 中島宏氏から約600件もの古武雄が佐賀県立九州陶磁文化館に寄贈されたことを記念し、選りすぐりの逸品を展示することにより、古武雄の特色と魅力を発信する。 (事業内容) ○特別企画展(平成30年10月～11月(予定))の開催	九州陶磁文化館
名護屋城博物館特別企画展開催費	0	16,500	(目的) 名護屋城博物館開館25周年を記念し、肥前名護屋を紹介する特別企画展を開催することにより、我が国の歴史上類例がない軍事都市が形成された肥前名護屋の実像に迫り、名護屋城跡等への理解を深める。 (事業内容) ○特別企画展(平成30年9月～11月(予定))の開催	名護屋城博物館
(新) 特別展「肥前さが幕末維新の「人」・「志」」開催事業費	0	76,395	(目的) 明治維新150年(平成30年)を契機に、幕末維新时期に活躍した佐賀の「人」(偉人)、偉業を成し遂げた偉人の「志」を紹介する企画展を開催することにより、県民が佐賀を誇りに思う気持ちを醸成するとともに、佐賀の特色と魅力を全国に発信する。 (事業内容) ○肥前さが幕末維新の「人」展(平成30年7月～9月(予定))の開催 ○肥前さが幕末維新の「志」展(平成30年11月～31年1月(予定))の開催	佐賀城本丸歴史館

(単位:千円)

事業名	29年度当初予算額	30年度当初予算額	要求事業の概要	担当課
(新) 新たなスポーツ推進モデル事業費	0	49,340	(目的) 新たなスポーツ推進モデルにより、本県のスポーツの更なる振興を図る。 (事業内容) ○トップアスリートの練習や試合等の視察、客員講師による講演、指導 ○新たなスポーツ推進モデル周知啓発等	スポーツ課
スポーツを楽しむ環境整備事業費	1,181,361	1,071,724	(目的) 国民体育大会・全国障害者スポーツ大会開催に必要な施設やスポーツキャンプ・スポーツ合宿の誘致等に必要環境を整備することにより、県民の夢や感動を生み出すスポーツの一大拠点の形成を図る。 (事業内容) ○総合運動場等整備工事基本設計等(アリーナ、水泳場、陸上競技場等) ○施設運営等に関するプロジェクト推進支援業務、専門家による支援業務等 等	スポーツ課

(注)政策調整会議時点のものであり、調整の結果、金額の変動、事業内容等の変更がありうる。

3 主要事業の要求状況

部局等の名称 県民環境部

(単位:千円)

事業名	29年度当初予算額	30年度当初予算額	要求事業の概要	担当課
(新) 地域の縁結び・人づくり 応援事業費補助	0	1,440	(目的) 社会教育に新たに求められている地域づくりの担い手となる人材育成の推進を図る。 (事業内容) ○市町・公民館等・CSOが連携・協働して取り組む地域づくりの担い手となる人材育成に対する補助 ○事業の成果や課題等を、市町等へ周知する推進フォーラムの開催	まなび課
子どもが本に親しむ環境 づくり推進事業費	22,027	29,579	(目的) 地域・家庭・学校といった子どもたちに身近なまなびの場と連携しながら、読み聞かせ等を通じて本に親しむ環境づくりを進め、子どもたちがいつでもどこでも“本”とつながる佐賀県を目指す。 (事業内容) ○県立図書館における子ども向けサービスの充実強化 ○“ころざしスポット拠点”の整備	まなび課
交通事故ワースト脱却 推進プロジェクト事業費	54,036	59,019	(目的) 交通事故防止に係る広報・教育等を集中的かつ効果的に行うとともに、交通マナーに関する県民の意識改革を図ることにより、交通事故の発生をより一層抑制する。 (事業内容) ○テレビCM及びラジオCMを活用した交通安全の啓発 ○交通安全ロゴマーク活用による広報・啓発 ○若者への効果的な交通安全の啓発 等	くらしの安全安心課
(新) 犯罪被害者等支援 推進事業費	0	5,927	(目的) 佐賀県犯罪被害者等支援推進計画に基づき、県、警察、市町及び民間支援団体等との連携を強化し、犯罪被害者等への支援の充実及び県民の理解促進を図る。 (事業内容) ○犯罪被害者等支援コーディネーターの配置 ○市町職員等を対象とした講座の開催 ○犯罪被害者等支援ボランティア養成講座の開催 ○弁護士への法律相談費用の支援 等	くらしの安全安心課
(新) クールチョイスSAGA 事業費	0	4,805	(目的) 家庭、運輸部門における効果的な温室効果ガスの削減につなげるため、「COOL CHOICE(賢い選択)」を切り口として、事業者等各主体と連携し、各種広報活動を行うとともに、消費者に直接働きかけることにより、省エネ製品の普及・啓発を図る。 (事業内容) ○事業者を対象とした自律的な販売促進の機運を高める研修の実施 ○県内を走る路線バスやタクシーを活用し、COOL CHOICEの考え方を情報発信 ○家電量販店等での省エネ製品を普及促進するためのイベント開催 等	環境課

(単位:千円)

事業名	29年度 当初 予算額	30年度 当初 予算額	要求事業の概要	担当課
有明海再生対策推進費	0	2,800	<p>(目的)</p> <p>豊穡の恵みをもたらす宝の海・有明海を知らない若い世代が増えていることから、次の世代に宝の海・有明海の記憶を引き継ぎ、広く有明海再生の機運を高め、持続的な再生活動へつなげる。</p> <p>(事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none">○宝の海・有明海に関する動画等の作成○動画等を活用した普及啓発活動の実施	有明海再生・自然環境課

(注)政策調整会議時点のものであり、調整の結果、金額の変動、事業内容等の変更がありうる。

3 主要事業の要求状況

部局等の名称 健康福祉部

(単位:千円)

事業名	29年度当初予算額	30年度当初予算額	要求事業の概要	担当課
(新) 障害のある人もない人もみんなを支えるけん事業費	0	23,343	(目的) 障害のある方が感じる不便や障壁を解消し、障害のある人もない人も暮らしやすい社会づくりを促進する。 (事業内容) ○ヘルプマークの導入及び普及啓発 ○情報支援ボランティアの確保 ○障害者差別解消法に基づく「合理的配慮の提供」の周知	障害福祉課
発達障害者支援体制整備事業費	76,055	79,176	(目的) 成人の発達障害者支援の環境及び地域における発達障害の検査・診断ができる体制の充実を図る。 (事業内容) 【拡充分】 ○支援拠点の設置 ○家族教室の拡大 ○かかりつけ医に対する研修の開催	障害福祉課
(新) 依存症対策事業費	0	8,938	(目的) 依存症に関する相談・治療体制の拡充により、早期相談や専門的治療につなげるとともに、自助グループの充実により、依存症者の回復状態を維持する。 (事業内容) ○相談拠点機関の設置 ○肥前精神医療センターを治療拠点機関に選定 ○自助グループの活動に対する補助	障害福祉課
(新) 措置入院者の退院後支援事業費	0	9,711	(目的) 精神障害による措置入院者が退院した後の支援計画を作成し、計画に基づいた支援を行うことにより、措置入院患者が地域生活にスムーズに移行することにつなげる。 (事業内容) ○精神障害者支援地域協議会の設置 ○措置入院患者への退院後支援	障害福祉課
(新) 重複服薬者等対策事業費	0	31,324	(目的) レセプトデータを活用した重複服薬等対策のPDCAサイクルの確立を図り県民の健康保持及び医療費適正化に資する。 (事業内容) ○医科・調剤に関するレセプトデータの分析 ○重複服薬者等対象者へのハガキ勸奨・訪問指導の促進	国民健康保険課

(単位:千円)

事業名	29年度当初予算額	30年度当初予算額	要求事業の概要	担当課
(新) 職域肝炎ウイルス検査促進事業費	0	20,963	(目的) 職域で実施する肝炎ウイルス検査受検者数を増加させるとともに、陽性者に対して医療機関の受診を勧奨することにより、肝がんの発生を防ぐ。 (事業内容) ○職域での肝炎ウイルス検査の無料化 等	健康増進課
(新) 佐賀のがん情報発信強化事業費	0	6,966	(目的) 佐賀のがんに関する情報を発信するとともに、がん対策に積極的に取り組む団体、企業の顕彰を行う。 (事業内容) ○佐賀のがんに関するポータルサイトの構築 ○がん対策への功績に対する知事表彰制度の創設	健康増進課
(新) マイナス1歳からのイクカジ推進事業費	0	8,493	(目的) 妻の妊娠を契機に、男性の積極的な家事や育児への参画を促すことにより、女性が活躍できる社会づくりにつなげていく。 (事業内容) ○県内産婦人科と連携した”プレパパ” 向け意識啓発講座の開催 ○男女共同参画の視点を盛り込んだ『父子手帳』の配布	男女参画・女性の活躍推進課
(新) 佐賀県と北海道との子ども交流事業費	0	9,624	(目的) 佐賀県と北海道の子どもたちとの共同作業を通して、島義勇の偉業を実体験として学ぶことなどにより、郷土愛や志を育む。 (事業内容) ○北海道での合同合宿 ○北海道からの佐賀探検団の受け入れ	こども未来課
放課後児童クラブ整備費補助	55,524	42,048	(目的) 市町が行う放課後児童クラブの整備に対し補助を行うことにより、屋間に保護者が不在である就学児童の健全育成を図る。 (事業内容) ○放課後児童クラブの新設又は既存施設の改築に係る費用に対する補助	こども未来課
(新) 子どもの居場所拡大事業費	0	17,507	(目的) 子どもと地域をつなぐ居場所づくりを促進し、課題を抱える子どもや家族に寄り添った支援を行うことにより、子どもの貧困対策を推進する。 (事業内容) ○居場所開設経費への補助 ○開設支援コーディネーターの配置	こども家庭課

(注) 政策調整会議時点のものであり、調整の結果、金額の変動、事業内容等の変更がありうる。

3 主要事業の要求状況

部局等の名称 産業労働部

(単位:千円)

事業名	29年度当初予算額	30年度当初予算額	要求事業の概要	担当課
(新) AI・IoT等活用推進事業費	0	51,326	<p>(目的)</p> <p>AI(人工知能)・IoT(あらゆる「モノ」がインターネットに接続され、情報交換をすることで、新たな付加価値を生み出すこと。)等を活用して、県内産業の生産性向上・経営力向上や新たなサービス等の創出を図るため、チャレンジする担い手の支援及びAI・IoT等を活用した新たなサービス等の創出に向けた支援を行う。</p> <p>(事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○経営者等に対するAI・IoT等に関する意識改革セミナーの開催 ○AI・IoT等の実務者の育成 ○AI・IoT等について、相談・体験できる場の提供 ○事業者とAI・IoT等の技術提供者のマッチング ○AI・IoT等の導入に向けた可能性調査支援 等 	産業企画課
(新) AI・IoT等活用推進事業費(投資)	0	5,000	<p>(目的)</p> <p>AI・IoT等を活用して県内産業の生産性向上・経営力向上や新たなサービス等の創出を図る。</p> <p>(事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新技術(低消費電力で広範囲をカバーする無線通信)環境の整備 	産業企画課
水素・燃料電池関連産業創出事業費(投資的経費)	0	32,400	<p>(目的)</p> <p>太陽光発電及び風力発電の導入拡大に資するとともに、水素利用の新たなモデルを創出することにより、将来の産業化に向けた礎を築く。</p> <p>(事業内容)</p> <p>再生可能エネルギーに由来する余剰電力を水素として貯蔵し、必要に応じて発電する実証研究の実施に向けたシステムの基本設計</p>	新エネルギー産業課
(新) 企業誘致環境整備事業費	0	11,859	<p>(目的)</p> <p>一定規模以上の新たな県営工業団地の整備を推進するために必要な適地調査を行い、企業誘致のための受け皿整備を推進する。</p> <p>(事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大規模な開発が可能で、企業の立地に適した用地の調査 	企業立地課
(新) 採用力向上支援事業費	0	22,682	<p>(目的)</p> <p>人手不足が深刻化する中、県内企業の採用条件向上への経営改善及び求職者への訴求力向上を支援する。</p> <p>(事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○採用力向上などをテーマとしたセミナーの開催 ○各分野の専門家等を活用した個別企業への支援 	産業人材課

(注)政策調整会議時点のものであり、調整の結果、金額の変動、事業内容等の変更がありうる。

3 主要事業の要求状況

部局等の名称 農林水産部

(単位:千円)

事業名	29年度当初予算額	30年度当初予算額	要求事業の概要	担当課
(新) さが農業「歴史・未来」展開催事業費	0	20,742	(目的) 本県の基幹産業である農業の功績を顕彰するとともに、これらをもととして未来にはばたく佐賀農業を県民や県内農業者に理解してもらうため、子どもから大人まで楽しめる体験型の企画展を開催する。 (事業内容) ○城内エリア等における、さが農業に関する企画展の開催	農政企画課
(新) それぞれの中山間チャレンジ事業費	0	21,083	(目的) 中山間地域の集落や産地等が行う話し合いによる課題の抽出や解決策の検討及び目標の実現に向けた取組に対して、関係機関が一体となって支援し、集落や産地等における農業・農村の維持や農業所得の向上を図る。 (事業内容) ○中山間地域の集落や産地が主体となって行う「農業・農村を守る取組」や「農業所得を向上させる取組」への支援	農政企画課
トレーニングファーム整備推進事業費(地方創生推進交付金)	7,807	10,470	(目的) 就農希望者や新規就農者が夢を持って農業に取り組み、所得向上や産地の維持・発展が図られるよう、地域が主体となった担い手育成システムのモデル的な整備を図る。 (事業内容) ○市町、農協等が行うトレーニングファーム整備のための地区推進活動に必要な経費に対する補助	農産課
トレーニングファーム整備推進事業費(整備事業)	168,033	185,293	(目的) 就農希望者や新規就農者が夢を持って農業に取り組み、所得向上や産地の維持・発展が図られるよう、地域が主体となった担い手育成システムのモデル的な整備を図る。 (事業内容) ○市町、農協等が行うトレーニングファーム整備に必要な経費に対する補助	農産課
森川海人っプロジェクト推進事業費	0	6,516	(目的) 森・川・海つながりや、その適切な管理の重要性などを普及啓発することにより、「森・川・海はひとつ」という考え方を広く県民に浸透させ、佐賀の豊かな自然環境を未来につなげる。 (事業内容) ○新聞広告、ラジオCM、スタンプラリー、各種イベントでのキャラクターを活用したPR活動及びパンフレットの配布による普及啓発 ○ふれあいの森フェスタなど、各種イベントの開催 ※ふれあいの森フェスタ以外のイベントは、別途、関係課で予算要求	森林整備課

(単位:千円)

事業名	29年度 当初 予算額	30年度 当初 予算額	要求事業の概要	担当課
有明海水産資源回復 技術確立事業費(ソフト)	220,000	200,000	(目的) 有明海地区の漁船漁業者の経営安定を図るため、資源が減少している6種類の特産魚介類に応じた有効な水産資源回復技術を確立する。 (事業内容) ・タイラギ:稚貝放流による母貝団地造設のための種苗生産技術の開発等 ・アゲマキ:稚貝大量放流による母貝団地造成 ・アサリ:稚貝の着底促進と生産向上技術の開発 等	水産課
有明海水産資源回復 技術確立事業費(ハード)	30,000	50,000	(目的) 有明海地区の漁船漁業者の経営安定を図るため、資源が減少している6種類の特産魚介類に応じた有効な水産資源回復技術を確立する。 (事業内容) ・浚渫・攪拌による漁場機能の回復 ・浚渫・盛土による試験漁場の造設	水産課

(注)政策調整会議時点のものであり、調整の結果、金額の変動、事業内容等の変更がありうる。

3 主要事業の要求状況

部局等の名称 県土整備部

(単位:千円)

事業名	29年度 当初 予算額	30年度 当初 予算額	要求事業の概要	担当課
(新) 大規模盛土造成地調査費	0	34,784	(目的) 県内の既存造成宅地のうち、大規模盛土造成地の位置及び規模を把握するとともに、調査結果を公表することにより、滑動崩落に関する住民の理解を深め、防災意識の向上を図る。 (事業内容) ○大規模盛土造成地の位置及び規模の把握・抽出 ○現地確認等による抽出結果の精査及び評価	都市計画課
エンジョイパーク吉野ヶ里「子育てし大“券”」事業費	10,611	26,051	(目的) 吉野ヶ里歴史公園が持つ「広場や遊び場などのレクリエーション空間」としての魅力を県内や福岡都市圏などの子育て世代へ伝え、新たな集客と更なる利用促進を図る。 (事業内容) ○「原体験」を体感できるイベントの開催(新規) ○子育て世代を対象とした招待券の配布 (利用期間:平成30年4月～5月、9月～11月(予定)) ○子育て世代を対象とした年間パスポートの半額割引 ○大型遊具のリニューアルや招待券などの情報発信 等	都市計画課
(新) 広域連携推進事業費	0	13,126	(目的) 生活排水処理事業(下水道、集落排水など)における各市町の良好な事業運営を継続するため、生活排水処理の広域化を推進する。 (事業内容) ○市町と広域化に関する勉強会の開催 ○広域化の検討	下水道課
(新) 住まいのバリアフリー化推進事業費	0	13,719	(目的) 段差での転倒などによる家庭内事故の予防のため、住宅のバリアフリー化を広く周知するとともに、安心してバリアフリー化リフォームに取り組める相談体制づくりを行う。 (事業内容) ○家庭内事故の現状や住まいに潜む危険性や対策の普及啓発 ○在宅生活サポートセンター(バリアフリーモデル住宅)における建築士による相談体制の整備	建築住宅課

(注)政策調整会議時点のものであり、調整の結果、金額の変動、事業内容等の変更がありうる。

3 主要事業の要求状況

部局等の名称 教育委員会事務局

(単位:千円)

事業名	29年度 当初 予算額	30年度 当初 予算額	要求事業の概要	担当課
(新) 新教育情報システム整備事業費 (債務負担行為) 新教育情報システム整備事業費	0	975,281 (期間) 平成31年度 ~ 平成35年度 (限度額) 1,879,262	(目的) 教育情報システム等のサポート期間等が平成31年度中途までに終了することから、更新を行う。 あわせて情報セキュリティ対策に取り組むことにより、生徒・保護者等の安全・安心の向上を図るとともに、学校現場に即した構成・システムとすることにより、利便性の向上及び教職員の負担軽減を図る。 (事業内容) ○教育情報システム改修及びサーバ機器等の更新 ○仮想化によるインターネットの分離 ○二要素認証機能、ファイル無害化機能の導入 等	教育総務課
(新) 新高校スクールバス運行事業費	0	26,784	(目的) 県立高校の再編整備に伴い校舎制を採用する学校において、合同行事や部活動などで校舎間を移動するために、スクールバスを運行することにより、生徒の安全確保及び負担軽減を図る。 (事業内容) ○嬉野高校(新設)及び白石高校(新設)におけるスクールバスの運行	教育総務課
(新) 長期保全整備事業費 (佐賀北高校通信制校舎改築) (債務負担行為) 長期保全整備事業費 (佐賀北高校通信制校舎改築)	0	6,512 (期間) 平成31年度 (限度額) 26,112	(目的) 老朽化した佐賀北高校通信制校舎を改築し、教育環境の改善を図る。 (事業内容) ○地質調査 等	教育総務課
さがを誇りに思う教育推進事業費	9,804	11,060	(目的) 佐賀の歴史や文化、人物などを学ぶ教育を推進することにより、ふるさと佐賀を愛し、誇りと自信を持つ人材の育成を図る。 (事業内容) ○中学生向け郷土学習資料の作成 等	学校教育課
肥前さが幕末維新博覧会体験事業費	0	121,649	(目的) 次代の佐賀を担う児童生徒が「肥前さが幕末維新博覧会」を体験することで、佐賀の偉業や偉人を理解し、先人の「志」を引き継ぐ心の醸成を図る。 (事業内容) ○県内の小学生(4~6年生)及び中学生が「肥前さが幕末維新博覧会」を体験するために利用する貸切バスの運行への支援	学校教育課

(単位:千円)

事業名	29年度当初予算額	30年度当初予算額	要求事業の概要	担当課
不登校対策総合推進事業費	90,850	103,107	(目的) 学校復帰に向けた段階的支援を充実することにより、不登校児童生徒の減少を図る。 (事業内容) ○関係機関等とのネットワーク構築により不登校児童生徒を支援するスクールソーシャルワーカーの派遣等	学校教育課
学習用PC整備関連事業費	0	343,717	(目的) 高度情報化社会又はグローバル社会で求められるコミュニケーション能力や情報活用能力など、生き抜く力の育成・習得に向け、ICT利活用教育を推進することにより、教育の質の向上を図る。 (事業内容) ○学習用PCの整備 ○県立高校用デジタル教材の購入 ○ヘルプデスクの設置	学校教育課
平成31年度全国高等学校総合文化祭佐賀大会開催準備事業費	23,280	101,260	(目的) 2019年に開催される第43回全国高等学校総合文化祭(全国高総文祭)佐賀大会の開催及び円滑な運営を図るために必要な準備を行う。 (事業内容) ○全国高総文祭開催準備室及び大会実行委員会の運営 ○ブレ大会の実施	学校教育課
高校生の文化芸術活動育成強化事業費	6,599	5,710	(目的) 2019年に開催される第43回全国高等学校総合文化祭佐賀大会を契機に、高校生の文化芸術活動を育成・強化することにより、本県における文化芸術の振興を図る。 (事業内容) ○文化芸術活動に取り組む生徒の育成・強化	学校教育課
(新)部活動指導員活用研究事業費	0	12,599	(目的) 公立中学校の部活動顧問教員等の負担軽減及び競技水準等の底上げを図る。 (事業内容) ○県内公立中学校へ部活動指導員を配置する実践研究の実施	保健体育課
佐賀県の近代化遺産普及啓発事業費	(H29は維新博事務局で計上)	4,081	(目的) 明治維新150年を契機として、身近に存在する文化財が、日本の近代化に果たした役割を県民に広く周知することにより、佐賀への誇りと愛着を醸成するとともに、県民の関心を深めることにより、文化財の保護につなげる。 (事業内容) ○佐賀の歴史や文化を学ぶことができる小冊子の作成	文化財課

(注)政策調整会議時点のものであり、調整の結果、金額の変動、事業内容等の変更がありうる。

(単位:千円)

事業名	29年度当初予算額	30年度当初予算額	要求事業の概要	担当課
(新) 犯罪被害者等支援推進事業費(警察本部)	0	7,434	(目的) 佐賀県犯罪被害者等支援推進計画に基づき、県、警察、市町及び民間支援団体の連携及び支援体制を強化することにより、犯罪被害者等への支援の充実及び県民の理解促進を図る。 (事業内容) ○市町等関係機関への効率的な情報提供及び犯罪被害者等へのスムーズな支援を行うためのシステムの導入 ○県民の理解を促進するための広報啓発DVDの作成	広報県民課
交通安全対策費	12,623	11,266	(目的) 効果的な交通安全自転車教室や交通安全広報啓発活動により、交通安全対策を推進する。 (事業内容) ○参加・体験型の自転車教育の実施 ○反射材の着用促進	交通企画課
運転適性相談における認知症等早期発見対応推進事業費	5,047	5,176	(目的) 運転免許センター、運転免許試験場に医療系専門職員2名を配置することにより、運転適性相談の機会を利用して認知症等危険運転者による交通事故防止を図る。 (事業内容) ○医療系専門職員の配置(2名) ○運転適性相談等を利用した認知症等危険運転者の早期把握等	運転免許課
交通安全施設整備費(公共・県単・特定事業)	563,619	500,017	(目的) 安全で円滑な道路交通環境の維持を図る。 (事業内容) ○交通信号機の高度化、更新、新設 ○交通標識及び道路標示の更新、新設 等	交通規制課
交通安全対策費(交通事件管理システム)	6,443	12,960	(目的) 統計データを活用した効果的な交通指導取締りを実施することにより、交通事故件数の抑制を図る。 (事業内容) ○交通事故及び取締統計データの分析、検証に基づいた効果的かつ効率的な取締りの実施	交通企画課

(注) 政策調整会議時点のものであり、調整の結果、金額の変動、事業内容等の変更がありうる。